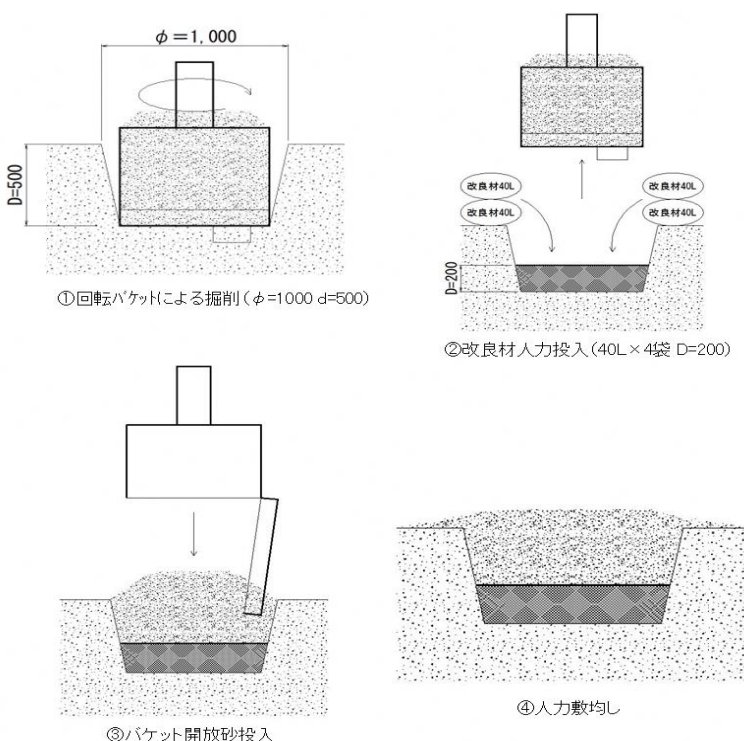


事後評価表

様式6-2

技術名		登録 No.	
専用バケットを用いた砂浜緑化工法(はまドリル)		2022D202	
施工内容		【概要図】	
施工年月	令和5年3月		
追跡調査年月	令和6年4月～7月		
発注機関	新潟市北区役所建設課		
工事名	松浜海岸緑化業務委託		
施工地	新潟市北区松浜海岸 地内		
施工数量	80m2		
新技術の概要			
砂浜を、1mピッチの千鳥配置で柱状に土壌改良し、地域固有植物により緑化する工法。 直径1m深さ0.5mの穴を専用バケットで掘り、土壌改良材を投入した後バケットの砂を戻して均す。			
事後評価結果			
比較した従来技術		静砂垣と砂草(ハマニンニク)植栽の併用法	
項目	評価	評価内容	
経済性	○	施工規模が日当り施工量未満のため、経済性の優位性が期待よりも低いが、従来技術よりコスト削減が図れた。	
工程	◎	従来技術より工期短縮が図れた。	
品質出来形	○	経年劣化しやすい構造物(静砂垣)が不要で、耐久性の向上が見込める。	
安全性	□	人力作業は軽減するが、重機作業に注意が必要となった。	
施工性	◎	機械施工であるため、人力による重労働が軽減された。熟練工は不要となった。	
環境	○	地上に構造物を設けないことに加えて、現地の埋土種子やによる緑化を促すことから、よりよい自然な環境と景観の形成が見込める。	
事後評価	植栽した植物だけでなく、本技術は土壌を改良する面積が広いことから施工箇所に進入した周辺植物による緑化も確認された。		
◎:優れている ○:やや優れている □:従来技術と比べて同程度 △:やや劣っている ×:劣っている			
活用上の留意点	・機械施工のため、施工箇所等の現場条件が限定される。 ・植栽を併用する場合は、植物の種類にあった時期に施工すること。		
新技術問い合わせ先			
会社名	グリーン産業株式会社		
所属部課	営業本部		
担当者	諏訪 克利		
TEL	025-242-2701		

【施工状況】



【施工16か月後の状況】

